1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

	· · · · · · · · · · · · · · · ·				
事業所番号	4271401269				
法人名	有限会社 薫風				
事業所名	グループホーム 陽だまりの家				
所在地	長崎県南島原市西有家町里坊109番地				
自己評価作成日	令和6年9月1日	評価結果市町村受理日	令和6年10月30日		

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.l	<u>kaigokensaku.</u>	mhlw.go.	jp/42/index.	php
----------	--------------	----------------------	----------	--------------	-----

【評価機関概要(評価機関記入)】

62 軟な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構
所在地	長崎県島原市南柏野町3118-1
訪問調査日	令和6年10月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様一人ひとり尊重した暮らしが出来る様に生活歴の把握し、思いや意思を尊重する。生きがいを持って自分らしく自由でのびのびと生活をしたい事を理念に掲げ、常に入居者を主としたケアに取り組んでいます。家庭的な雰囲気の中で職員一人ひとりが入居者様と生活を共にしている事を意識し、ゆっくりと関わりを持てるように落ち着いた環境でコミュニケーションを図り、心地よい温かい生活・安心・安全な生活が送れるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

りビングの窓からは明るい日差しが差し込み、普賢岳や田畑の風景を眺めることができ開放感がある。3棟からなる当ホームは日常的に清掃し、窓を開けて換気し、清潔保持に努めており、空気のよどみは無く、気になるような臭いが発生しないよう配慮している。同系列の医療法人が近隣にあり、緊急の場合は24時間の医療連携体制があり家族の安心に繋がっている。定期受診、他科受診、遠方への病院受診には職員が同行しており、家族の負担軽減に繋がっている。職員は受診の際にバイタルチェック表を持参し、入居者の状態を知らせ、円滑に受診ができるよう取り組んでいる。。ホームは自治会に加入し、回覧板を回付しながら地域の情報を得たり、地域の神輿がホームに立ち寄ることもあり、入居者が子ども達の舞い踊りをリビングの窓越しから見学するなど地域の方と交流している。家庭的な雰囲気の中、職員一人ひとりが入居者とコミュニケーションを図り、居心地よく、安心・安全な生活を送れるよう支援している。

	項 目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目	↓該	取 り 組 み の 成 果 当するものに〇印
6	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意 向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、 求めていることをよく聴いており、信頼関係が できている (参考項目:9,10,19)	O	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
7	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場 面がある (参考項目:18,38)	O 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や 地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	0	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	O 1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の 関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業 所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	0	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が O 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66		0	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
0	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけて いる (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが O 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
31	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安 なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う	0	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔	1. ほぼ全ての利用者が ○ 2 利用者の2/3くらいが			_	

|2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

(別紙2-2)

自己評価および外部評価結果

ユニット名 若菜棟

自己	外	項目	自己評価	外部評	価
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ι.	理念し	こ基づく運営			
1		○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して 実践につなげている	各棟の玄関、事務所、休憩室に掲示し、職員 全員が共有出来る様にしている。	ホームの理念「認知症であっても一人一人が地域の中で当たり前に暮らしながら人間の尊厳を大切に生きていく。」を各棟の玄関や事務所、休憩室に掲示して確認するようにしている。各棟の職員は理念を念頭に月間目標を定め、目的・具体的な進め方・検討・評価を行っている。家庭的な雰囲気の中、職員一人ひとりが入居者とコミュニケーションを図りながら、心地よい温かな生活、安心・安全な生活が送れるよう努めている。	
2		〇事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	コロナの影響で行事等の参加は出来ていないが、回覧板による情報連絡は来ている。	ホームは自治会に加入し、回覧板を回付して地域の情報を得ている。近隣でお悔みがあった際は香典を届けている。地域の神社の神輿がホームに立ち寄った際には、入居者が子ども達の舞い踊りをリビングの窓越しから見学し、入居者の喜びとなっている。	
3		〇事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向け て活かしている	ホームページやパンフレットによるGHの案内 をしている。またインスタグラムを初め、色々 な出来事を投稿して案内している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合 いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かし ている	本年9月以後より、以前のようにホームにて開催し様々な意見を聞き、今後に生かしていきたい。	昨年より地域でコロナ感染が広がったことを考慮し、運営推進会議は書面会議にて実施した。委員や家族には議事録を送付し、意見や要望を運営に活かしている。今年9月より対面での会議を行っており、入居者の状況、行事報告等、意見交換し運営に活かしている。欠席した委員や家族には議事録を送付し意見・要望等を聞いている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝 えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	認定調査の申請、生活保護の手続き、災害 設備の設置、推進会議を通じ入居状況などの 報告をしている。	運営推進会議に南島原市役所福祉課職員が参加しており、ホームの実情や取り組み内容などを知らせ、助言等を得ている。また、各種申請手続きや助成金申請など必要に応じて行政窓口に出向き、協力関係を築くよう取り組んでいる。	

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6		〇身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サー ビス指定基準及び指定地域密着型介護予防サー ビス指定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含め て身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し委員会を中心 とした研修会を定期的に開催し意識と理解を 高め身体拘束ゼロを目指している。	毎月の職員会議に合わせて、身体拘束廃止委員会、身体拘束適正化委員会を開催している。「身体拘束の適正化・高齢者虐待防止」に関する研修用DVDを視聴し職員へ周知を図っている。入居者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化しないよう職員一人ひとりが身体的・精神的弊害を理解し、身体拘束をしないケアの実施に努めている。	
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修会を開催している。また、取り組みとして、職員会議で月目標としたり、日々の業務中で気付けたことは注意している。また、今年度中に虐待防止員会を設置する。		
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	ご家族様の方との話し合いは行政の担当者 の方への相談・勉強会の開催など行ってい る。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行 い理解・納得を図っている	契約、又は、解約においては家族等の考えや 疑問点を傾聴し真摯に受け入れ対応するよう にしている。又、説明を十分に行い理解したう えで契約している。		
10		〇運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	意見、ご要望の受付箱の設置やアンケートを 実施している。また、当施設担当者、相談員 等にも聞き取りを行っている。	輪かめつに場合は入店有の近流を知らせ、その際に意見や要望を聞くようにしている。「薫風陽だまりの家新聞」を毎月発行し、日本に入事の参加状況を	入居時における重要事項として第三者評価の受審状況を家族等へ説明することが求められており、今後、重要事項説明書に第三者評価実施の有無・実施した直近の年月日・評価機関名称・評価結果の開示状況を記載すると共に、外部評価の受審時には、家族に対しアンケート調査を実施し家族の意見等を汲み取る機会となる旨を説明し協力を求めることを期待する。

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	外 部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11		○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	毋力、刑催される戦員去議やてれ以がにも リニュダできり担実出本めまい	管理者は毎月実施する職員会議や、LINE、電話等を通じて日常業務における職員意見や要望を聞き、運営に反映させている。職員間のチームワークも良く、管理者とは気軽に相談できる関係を築き、働き易い職場環境の整備に努めている。今年8月には「ハラスメント防止について」の研修会を開催し、職員間で共有している。	
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている	処遇改善による、環境整備の増設、給与に反 映されている。		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会 の確保や、働きながらトレーニングしていくことを 進めている	コロナの状況にもよるが関連施設による合同 研修会や合同委員会の参加を出来る限り 行っている。		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	通知や電話での情報、またメール等にて交流 が出来ている。		
II .		★信頼に向けた関係づくりと支援 ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の要望を傾聴し、人間関係や勧業をよく 考え、希望や要望に沿えるように努めてい る。		

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	外 部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		〇初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係 づくりに努めている	当ホームで対応しうるサービス支援の説明を し、入居後の生活を安心していただけるよう に、良い関係づくりが出来る様に努めている。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、古賀族が不安なこと、困っていること 傾聴し、どのサービスや支援が出来るか他の 施設の相談員、病院とも意見交換している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の知りうる能力を共同生活の中での楽 しみややりがいを見出せるように関係づくりに 努めている。		
19		〇本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	コロナにより制限はありましたが、面会や電話、広報などで現状を伝えている。		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナによる制限はあるが、出来るだけ面会 や、外出等を支援し良い関係が継続できるよ うに努めている。	コロナの感染状況により家族との面会は、電話予約をしてもらい実施している。島原半島内在住の家族は玄関内のパーテーション越しで面会してもらい、それ以外の方は窓越しでの面会となっている。家族の希望により入居者の法事への参加や、墓参りの為に外泊した場合などは、PCR検査を実施できるよう家族へ助言するなど、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評	価
	部	2	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の方々が、関わりあえる場を作り、お話をし、「レクリエーションを通してよい関係が 出来るように努めている。		
22		〇関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、必要に応じてご相談、ご協力出来るよう努めている。		
		人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン			
23	` ′	〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている		職員はリビングで入居者の様子を観察しながら、 その方が何をしたいか本人の表情や動きから思いを汲み取るようにしている。難聴の方には、職 員が耳元で繰り返し話をして納得してもらえるよう 努めている。	
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	これまでどの様に暮らしてきたか、ご本人、ご 家族へ尋ねるとともにホーム内で生活の中で も探りながら把握し今後に生かせるよう努め ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	日常生活のなかでお一人お一人の現状把握 に努め、その人らしく生活出来るように支援し ている。		

自己	外	項目	自己評価	外部評	価
	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	本人がより良い暮らしが出来るよう、本人、ご 家族や医師に相談しケアプランを作成し、介 護を行っている。	入居時に入居者及び家族からその方が望む暮らし方の希望を聞き、サマリーやアセスメント表を確認しながら身体状態に応じた介護計画を立てている。入居後は担当職員が毎日の生活の支援経過記録を残し、職員間で話し合った上で各棟のケアマネージャーがその方に即した介護計画を立ている。介護計画は6か月毎の見直しを基本とし、状態変化があった場合は随時見直しを行っている。	
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子を記録し、変化や気付きなど職員 で情報を共有し、介護計画の見直しなどを行 い実践している。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりのその時の状況、状態に応じて柔軟に支援やサービスが出来るように努めている。		
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウイルス感染対策の為、施設外のイベント等に参加できていないが、リハビリ支援や家族との外出など少しづつではあるが支援できている。		
30	(11)	〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受けられるように支援して いる	基本的には、施設関連の病院をかかりつけ 医(石川医院)にしていただいていが、専門的 な事例に関してはこれまでのかかりつけ医を 受診されている。	入居前に受診していたかかりつけ医を入居後も継続できるが、同系列に医療法人があり、緊急の場合は24時間の医療連携体制ができている為、変更する家族が多い。定期受診、他科受診、遠方の病院への受診は職員が同行して支援している。受診の際はバイタルチェック表を持参し、入居者の状態を知らせ、円滑に受診できるよう取り組んでいる。	

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携により日頃のバイタル測定や状態 観察をし異常時は直ぐ医療機関に状態報告 をするようにしている。		
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよう に、又、できるだけ早期に退院できるように、病院 関係者との情報交換や相談に努めている。ある いは、そうした場合に備えて病院関係者との関係 づくりを行っている	入院された時は、病院との情報交換を行い利 用者や家族の意見を確認し再入所や今後の 予定など検討している。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に取り組んで いる	本人の状態について把握し、石川医院と連携を行い、重度化や終末期を向える前には、家族、Drと話し合い希望に沿った支援を出来る様に取り組んでいる。	これまで看取り支援を行った実績がある。契約の際に家族へ看取り支援について説明している。重度化に伴い、薄雲棟に移動して入居者・家族・医師・看護師・職員と話し合いホームでできる事を家族へ説明して看取りを行っている。看取りの指針を整備し、職員は看取りの流れを把握すると共に看取りに関する研修にも参加している。看取り期には家族へ電話連絡にて入居者本人の状態を知らせ、共有しながら支援に取り組んでいる。	
34		〇急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員、勉強会で学び、処置のやり方はその 都度石川医院と連携をとり対応の仕方を学ん でいる。		
35		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及 び消火、避難訓練等を実施することにより、全職 員が身につけるとともに、地域との協力体制を築 いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	5月と11月に消防訓練を行っているが、コロナウイルス感染症対策の為、消防所の立会いは出来ていときもある。	年2回、火災想定の避難訓練を3棟合同で実施している。近隣に同系列の医療法人の施設があり、避難時等に協力関係を築いている。非常時の備蓄に関し備蓄品リストを作成して各棟の倉庫に保管し、管理者が賞味・消費期限を管理している。BCP(業務継続計画)を策定しており、今後、BCPに関するシミュレーションを実施する意向である。	ホームに地元消防団員が在職されており、また、ホームの近隣には地元消防団の詰所もある。今後、地元消防団へ避難訓練の参加を促したり、運営推進会議等を通じて地域の方に協力を求めるなど、地域と災害時の協力体制を築けるよう取り組むことを期待する。

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	部	, –	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV.	その	人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	(14)	〇一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	身体拘束廃止委員会での勉強会をもとに、職員の言葉使いや、利用者様への接し方などを確認しながら利用者様のプライバシー保護に注意している。	契約時にホームページ、SNS(インスタグラム)への入居者の写真掲載に関し家族より同意を得ている。4月に接遇マナーの研修を受講し、参加した職員は他の職員とも共有している。不適切な言葉かけがあった場合は、気づいた職員が注意するなど、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。	
37		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、 自己決定できるように働きかけている	自己決定できる言葉かけを行い、お話を傾聴 する中で、要望、希望を見出し寄り添った行 動を行うよう心掛けている。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの方々の生活歴を把握し、本人の 要望を確認しながら寄り添ったケアを行って いる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	どの洋服を着たいのか言葉かけし、一緒に準備を行い本人の意思にて選んでいただけるように支援している。また、選ぶ事が出来ない方に対しては、ご家族の方に好みを聞いて対応している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている	野菜を栽培し、一緒に収穫した野菜を食事に 提供、又楽しんでいただく為に、おやつを一緒 に作り食べていただいている。	食事は業者に依頼し、カロリー計算を実施した食事を宅配してもらっている。職員が食事を温めてその方の嚥下状態に合わせた食事を提供している。行事食のメニュー表や月1回のご当地メニュー表を入居者の写真付きで作成し、入居者の楽しみにもなっている。栽培した野菜を用いておやつを作ったり、ホットケーキを作るなど入居者と職員が一緒に楽しみながら食事を提供している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評	価
	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	食事が進まないひとは、言葉かけや食材を工夫して、摂取していただき、水分が苦手な人には好みのものなどで摂っていただいている。		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	食後は、洗面台へ誘導し、介護が必要なかたは、出来るところまでしていただく。出来ないところを一部介助している。		
43	(16)	〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄記録を活用し、言葉掛け、誘導し排泄を 行ってもらっている。出来ないところは、介助 して清潔にしている。	入居者本人の排泄パターンを把握し、入居者 個々の状態に応じてトイレ誘導をしながらトイレで 排泄ができるよう支援している。福祉用具貸与を 利用し、リハビリパンツ、パット、おむつ等、入居者 に合った大きさを検討し使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	食事をしっかり摂って頂き、水分補給を行っている。体を動かして頂くことで、便秘予防にも 努めている。		
45	(17)	〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人の希望やその日の体調によって変更している。季節や天候によって希望に沿えないこともある。	女性の入居者が入浴をする際は同性介助を行い、本人の羞恥心に配慮するよう取り組んでいる。入浴時、職員は入居者と会話しながら介助し、本人自身ができところは自ら洗髪、洗身してもらうなど個々に沿って支援している。週2回午前中の入浴を基本としており、湯の温度や、脱衣場、風呂の温度を管理し、入居者が安全に気持ちよく入浴できるよう取り組んでいる。	

自	外	** 0	自己評価	外部評	価
自己	外 部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自分の意思を伝えられない方は、日中、一定 時間居室で休んでいただいたり、よく寝れるよ うに、その人に合わせた空間づくりをしてい る。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	日頃から健康観察を行い、定期薬やお薬手 帳を管理し理解するよう努めている。		
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お盆拭きや洗濯物たたみなどの役割などを、 その人に合ったお手伝いをしていただいてい る。テレビや新聞など好みのあるものを自由 に使用されている		
49		ないような場所でも、本人の希望を把握し、家族		職員は入居者の希望や要望等の傾聴に努めながら、介護老人保健施設でのリハビリ後に売店に寄り買物するなど可能な範囲で外出を支援している。車イスの方から「散歩に行きたい」という希望に応じ、天候の良い日に近隣で散歩するなど気分転換を図っている。	
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を 所持したり使えるように支援している	本人の希望時は、家族へ相談し購入していた だいたいる。状況により代理で購入も行って いる。		

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	本人が電話を希望される時は、相手への確認を取り、お話をされるように対応を行っている。		
52		〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	イベントや季節に合わせた飾りつけを行い、 居心地の良い空間づくりに努めている。	リビング兼キッチンは掃き出し窓で日光が差し込み、普賢岳や田畑などの風景を眺めることができ、開放感がある。共用空間には季節の貼り絵を飾り、季節感を取り入れて快適に過ごせるよう工夫している。3棟の浴室・トイレをリフォームして整備している。日常的に清掃し、窓を開けて換気し、清潔保持に努めており、空気のよどみは無く、気になるような臭いが発生しないよう配慮している。	
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の 工夫をしている	皆さんが出来るゲームを用意したり、ソファー や椅子でテレビや新聞を見て過ごしたりと好 きな場所でゆっくり過ごされている。		
54	(20)		ほとんどが今まで自分が使用したものを持ち 込まれている。家族が本人の好みの物を持っ てこられている。	居室には家族の写真、テレビ、置き時計、ちりめんの布で作った小物など、本人の馴染みの物品を置き、思いおもいの部屋づくりを支援している。家具の配置は入居者の動線に合わせ、本人にも確認しながら配置している。シーツは週1回洗濯し、気持ちよく就寝できるよう配慮している。	
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	共有し使用する物は、皆さんが出来るものを 使用している表示も分かりやすいようにしてい る。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

F 1. N (1) 1/0 × (1.	71 HD 7 47 Z						
事業所番号	4271401269						
法人名	有限会社 薫風						
事業所名	グループホーム 陽だまりの家						
所在地	所在地 長崎県 南島原市 西有家町 里坊109番地						
自己評価作成日	令和6年9月1日	評価結果市町村受理日	令和 年 月 日				

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php

【評価機関概要(評価機関記入)】

62 軟な支援により、安心して暮らせている

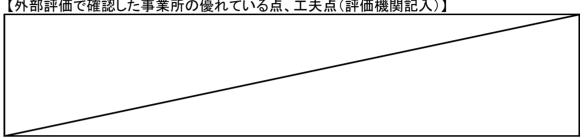
(参考項目:28)

評価機関名	特定非営利活動法力	、ローカルネット日本評価支援機構
所在地	長崎県	島原市南柏野町3118-1
訪問調査日	令和6年10月3日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様一人ひとり尊重した暮らしが出来る様に生活歴の把握し、思いや意思を尊重する。生きがい を持って自分らしく自由でのびのびと生活をしたい事を理念に掲げ、常に入居者を主としたケアに取り 組んでいます。家庭的な雰囲気の中で職員一人ひとりが入居者様と生活を共にしている事を意識し、 ゆっくりと関わりを持てるように落ち着いた環境でコミュニケーションを図り、心地よい温かい生活・安 心・安全な生活が送れるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】



			取り組みの成果				取り組みの成果
	項 目	↓該닄	当するものに〇印		項 目		るものに〇印
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意		1. ほぼ全ての利用者の		職員は、家族が困っていること、不安なこと、		ほぼ全ての家族と
56	向を掴んでいる	0	2. 利用者の2/3くらいの	63	求めていることをよく聴いており、信頼関係が		家族の2/3くらいと
50	(参考項目:23,24,25)		3. 利用者の1/3くらいの	00	できている		家族の1/3くらいと
	(多行項日:25,24,25)		4. ほとんど掴んでいない		(参考項目:9,10,19)		ほとんどできていない
	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場	0	1. 毎日ある		通いの場やグループホームに馴染みの人や		ほぼ毎日のように
57	面がある		2. 数日に1回程度ある	64	地域の人々が訪ねて来ている		数日に1回程度
,	(参考項目:18,38)		3. たまにある	04	(参考項目:2,20)		たまに
	(参考項日:10,30)		4. ほとんどない		(多有項日:2,20)	4.	ほとんどない
		0	1. ほぼ全ての利用者が		運営推進会議を通して、地域住民や地元の	1.	大いに増えている
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)		2. 利用者の2/3くらいが	65	関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業	2.	少しずつ増えている
98			3. 利用者の1/3くらいが	00	所の理解者や応援者が増えている	O 3.	あまり増えていない
			4. ほとんどいない		(参考項目:4)	4.	全くいない
	利田老は、贈号が士博士ステレスともとしょ		1. ほぼ全ての利用者が			O 1.	ほぼ全ての職員が
- ^	利用者は、職員が支援することで生き生きした	0	2. 利用者の2/3くらいが	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	2.	職員の2/3くらいが
9	表情や姿がみられている		3. 利用者の1/3くらいが	00		3.	職員の1/3くらいが
	(参考項目:36,37)		4. ほとんどいない				ほとんどいない
	利田老は 三風の行されいしころ。川かはて		1. ほぼ全ての利用者が		ウェムショイ ショス・ナー・ドラー・カナント	1.	ほぼ全ての利用者が
~~	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけて		2. 利用者の2/3くらいが	0.7	職員から見て、利用者はサービスにおおむね	O 2.	利用者の2/3くらいが
οU	いる		3. 利用者の1/3くらいが	67	満足していると思う	3.	利用者の1/3くらいが
	(参考項目:49)	0	4. ほとんどいない				ほとんどいない
	ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・	Ö	1. ほぼ全ての利用者が		サラムショイ 利田老の京大佐はり じっこ		ほぼ全ての家族等が
	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安		2. 利用者の2/3くらいが		職員から見て、利用者の家族等はサービスに		家族等の2/3くらいが
1	なく過ごせている		3. 利用者の1/3くらいが	68	おおむね満足していると思う		家族等の1/3くらいが
	(参考項目:30,31)		4. ほとんどいない				ほとんどできていない
			1. ほぼ全ての利用者が		!		15:E:0 E 12 10 5:0
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔	\cap	2 利用者の2/3くらいが				

|2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

(別紙2-2)

自己評価および外部評価結果

ユニット 薄雲

自	外		自己評価	外部評	価
=	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		- サベノ電光	大	大歧仇况	次のスプラブに向けて期付したい内谷
1		○基づく運営○理念の共有と実践地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各棟の玄関、事務所、休憩室に掲示し、職員 全員が共有出来る様にしている。		
2	(2)	〇事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	コロナの影響で行事等の参加は出来ていないが、回覧板による情報連絡は来ている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向け て活かしている	ホームページやパンフレットによるGHの案内をしている。またインスタグラムを初め色々なことを投稿し案内している。		
4		いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	本年9月以後より、以前のようにホームにて開催し様々な意見を聞き、今後に生かしていきたい。		
5	(4)		認定調査の申請、生活保護の手続き、災害 設備の設置、推進会議を通じ入居状況などの 報告をしている。		

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	外 部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6		〇身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し、又身体拘束 適正化委員会を設置し、その委員会を中心と した研修会を定期的に開催し意識と理解を高 め身体拘束ゼロを目指している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	今年度より、虐待防止委員会を設置し、虐待 防止の研修会を開催している。また、取り組 みとして、職員会議で月目標としたり、日々の 業務中で気付けたことは注意している。		
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	ご家族様の方との話し合いは行政の担当者 の方への相談・勉強会の開催など行ってい る。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行 い理解・納得を図っている	契約、又は、解約においては家族等の考えや 疑問点を傾聴し真摯に受け入れ対応するよう にしている。又、説明を十分に行い理解したう えで契約している。		
10	` ′	〇運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	意見、ご要望の受付箱の設置やアンケートを 実施している。また、当施設担当者、相談員 等にも聞き取りを行っている。		

自己	外	項目	自己評価	外部評	価
	外 部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、開催される職員会議やそれ以外にも メール等で意見提案出来やすい。		
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている	処遇改善による、環境整備の増設、給与に反 映されている。		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを 進めている	コロナの状況にもよるが関連施設による合同 研修会や合同委員会の参加を出来る限り 行っている。		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問 等の活動を通じて、サービスの質を向上させてい く取り組みをしている	通知や電話での情報、またメール等にて交流 が出来ている。		
II .5	_	と信頼に向けた関係づくりと支援 ○初期に築く本人との信頼関係			
10		サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の 安心を確保するための関係づくりに努めている	当ホームで対応しうるサービス支援の説明をし、入居後の生活を安心していただけるように、良い関係づくりが出来る様に努めている。		

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	外 部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		〇初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係 づくりに努めている	ご本人、古賀族が不安なこと、困っていること 傾聴し、どのサービスや支援が出来るか他の 施設の相談員、病院とも意見交換している。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の知りうる能力を共同生活の中での楽 しみややりがいを見出せるように関係づくりに 努めている。		
18		〇本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	コロナにより制限はありましたが、面会や電話、広報などで現状を伝えている。		
19		〇本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	コロナによる制限はあるが、出来るだけ面会 や、外出等を支援し良い関係が継続できるよ うに努めている。		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の方々が、関わりあえる場を作り、お話をし、「レクリエーションを通してよい関係が出来るように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評	価
		, , , ,	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	退居後も、必要に応じてご相談、ご協力出来るよう努めている。		
22		〇関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お一人お一人の今までの生活習慣、個性を 大切にし、出来るだけ対応できるように努め ている。		
		人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン			
		〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	これまでどの様に暮らしてきたか、ご本人、ご 家族へ尋ねるとともにホーム内で生活の中で も探りながら把握し今後に生かせるよう努め ている。		
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	日常生活のなかでお一人お一人の現状把握 に努め、その人らしく生活出来るように支援し ている。		
25		〇暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	日常生活のなかでお一人お一人の現状把握 に努め、その人らしく生活出来るように支援し ている。		

自	外部	項目	自己評価	外部評	価
自己			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	本人がより良い暮らしが出来るよう、本人、ご家族や医師に相談しケアプランを作成し、介護を行っている。		
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子を記録し、変化や気付きなど職員 で情報を共有し、介護計画の見直しなどを行 い実践している。		
28			ー人ひとりのその時の状況、状態に応じて柔 軟に支援やサービスが出来るように努めてい る。		
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウイルス感染対策の為、施設外のイベント等に参加できていないが、リハビリ支援や家族との外出など少しづつではあるが支援できている。		
30	(11)	〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受けられるように支援して いる	基本的には、施設関連の病院をかかりつけ 医(石川医院)にしていただいていが、専門的 な事例に関してはこれまでのかかりつけ医を 受診されている。		

自己	外 部	項目	自己評価	外部評	価
	部	7	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		〇看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携により日頃のバイタル測定や状態 観察をし異常時は直ぐ医療機関に状態報告 をするようにしている。		
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよう に、又、できるだけ早期に退院できるように、病院 関係者との情報交換や相談に努めている。ある いは、そうした場合に備えて病院関係者との関係 づくりを行っている	入院された時は、病院との情報交換を行い利 用者や家族の意見を確認し再入所や今後の 予定など検討している。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に取り組んで いる	本人の状態について把握し、石川医院と連携を行い、重度化や終末期を向える前には、家族、Drと話し合い希望に沿った支援を出来る様に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	全職員、勉強会で学び、処置のやり方はその 都度石川医院と連携をとり対応の仕方を学ん でいる。		
35	(13)	〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及 び消火、避難訓練等を実施することにより、全職 員が身につけるとともに、地域との協力体制を築 いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	5月と11月に消防訓練を行っているが、コロナウイルス感染症対策の為、消防所の立会いは出来ていときもある。		

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	外 部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		人らしい暮らしを続けるための日々の支援 〇一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	身体拘束廃止委員会での勉強会をもとに、職員の言葉使いや、利用者様への接し方などを確認しながら利用者様のプライバシー保護に注意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、 自己決定できるように働きかけている	自己決定できる言葉かけを行い、お話を傾聴 する中で、要望、希望を見出し寄り添った行 動を行うよう心掛けている。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの方々の生活歴を把握し、本人の 要望を確認しながら寄り添ったケアを行って いる。		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	どの洋服を着たいのか言葉かけし、一緒に準備を行い本人の意思にて選んでいただけるように支援している。また、選ぶ事が出来ない方に対しては、ご家族の方に好みを聞いて対応している。		
40	(15)	〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている	野菜を栽培し、一緒に収穫した野菜を食事に 提供、又楽しんでいただく為に、おやつを一緒 に作り食べていただいている。		

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	外 部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	毎月、体重測定しBMIを把握している。食事量が少ない人には、言葉かけ等行いながら食べていただき、また、好みの食べ物を提供できるようにしている。水分が苦手な人には工夫し摂っていただき、体調管理を行っている。		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	毎食後、洗面台へ誘導し口腔ケアを行ってもらっている。介助が必要な方でも、出来るところは行ってもらい、一部介助を行っている。全介助の方にはガーゼやスポンジブラシを使用しケアを行っている。		
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄記録を活用し、言葉掛け、誘導を行い、 出来る限り本人の力で排泄を行ってもらって いる。出来ないところは、言葉かけしながら一 部介助している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	排便のカウントを行い、それぞれの排便状況 を把握している。石川医院と連携をとり、下剤 薬等を処方してもらっている。		
45	(17)	〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週に二回は確実に入っていただき、清潔な状態を保てるようにしている。入浴好きな方、嫌いな方もおられ、それぞれにあった声掛け、対応をし気分よく入っていただけるようにしている。		

自	外部	項目	自己評価	外部評	価
自己			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝前にトイレを済ませ、夜間用パットなど使用し起床時間、排泄時間を把握し、良眠できるように行っている。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	石川医院からの定期薬の確認、お薬手帳の 管理など支援している。		
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ー人ひとりに合った役割を支援している。洗 濯物たたみやお盆拭き等手伝ってもらってい る。		
49		支援している	コロナ禍のため、なかなか出かけることが出来ないが、施設周辺などに散歩したりしている。		
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援している	基本的に預からないが、本人やご家族の希望により代理で購入をしている。代金、お釣りの確認は本人、職員2名で行っている。		

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	外 部	7. –	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	手紙が届いた時は、手渡す。できる様であれば、電話や手紙にて返信できるように支援している。		
		ねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、 居心地よく過ごせるような工夫をしている	カレンダーや壁紙などを季節ごとに変化させ 季節感を感じていただき、話題になるようにし ている。		
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の 工夫をしている	食堂や和室の空間を利用して、好きな場所に 自由に居られるようにしている。		
54		〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相 談しながら、使い慣れたものや好みのものを活か して、本人が居心地よく過ごせるような工夫をして いる	持参されて写真や馴染みな物などを飾り、落 ち着かれる雰囲気作りを心掛けている。		
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	個々の運動機能や認知力を考え、歩ける方も 車いすのなど使用される方も安全に使用、共 有出来る様にしている。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

E 3 P14171 1770224 1 3	- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1					
事業所番号	4271401269					
法人名	有限会社 薫風					
事業所名	グループホーム 陽だまりの家					
所在地	所在地 長崎県 南島原市 西有家町 里坊109番地					
自己評価作成日	令和6年9月1日	評価結果市町村受理日	令和 年 月 日			

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php 基本情報リンク先

【評価機関概要(評価機関記入)】

62 軟な支援により、安心して暮らせている

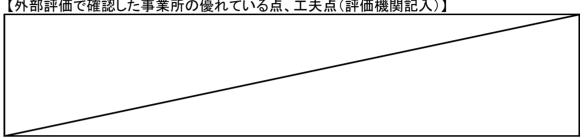
(参考項目:28)

評価機関名	特定非営利活動法力	、ローカルネット日本評価支援機構
所在地	長崎県	島原市南柏野町3118-1
訪問調査日	令和6年10月3日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様一人ひとり尊重した暮らしが出来る様に生活歴の把握し、思いや意思を尊重する。生きがい を持って自分らしく自由でのびのびと生活をしたい事を理念に掲げ、常に入居者を主としたケアに取り 組んでいます。家庭的な雰囲気の中で職員一人ひとりが入居者様と生活を共にしている事を意識し、 ゆっくりと関わりを持てるように落ち着いた環境でコミュニケーションを図り、心地よい温かい生活・安 心・安全な生活が送れるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】



	-T E		取り組みの成果		-T -F	取り組みの成果
	項 目	↓該닄	当するものに〇印		項 目	↓該当するものにO印
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意		1. ほぼ全ての利用者の		職員は、家族が困っていること、不安なこと、	○ 1. ほぼ全ての家族と
56	向を掴んでいる	0	2. 利用者の2/3くらいの	63	求めていることをよく聴いており、信頼関係が	2. 家族の2/3くらいと
00	(参考項目:23,24,25)		3. 利用者の1/3くらいの		[できている	3. 家族の1/3くらいと
	(多行項目:20,24,20)		4. ほとんど掴んでいない		(参考項目:9,10,19)	4. ほとんどできていない
	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場	0	1. 毎日ある		通いの場やグループホームに馴染みの人や	1. ほぼ毎日のように
57	面がある		2. 数日に1回程度ある	64	地域の人々が訪ねて来ている	2. 数日に1回程度
,	(参考項目:18,38)		3. たまにある		(参考項目:2,20)	O 3. たまに
	(多行英日:10,00)		4. ほとんどない			4. ほとんどない
	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	0	1. ほぼ全ての利用者が		運営推進会議を通して、地域住民や地元の	1. 大いに増えている
58			2. 利用者の2/3くらいが	65	関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業	2. 少しずつ増えている
00			3. 利用者の1/3くらいが		所の理解者や応援者が増えている	〇 3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない		(参考項目:4)	4. 全くいない
	利用者は、職員が支援することで生き生きした		1. ほぼ全ての利用者が		職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が
59	表情や姿がみられている	0	2. 利用者の2/3くらいが	66		2. 職員の2/3くらいが
00	(参考項目:36,37)		3. 利用者の1/3くらいが			3. 職員の1/3くらいが
	(多行英日:00,07)		4. ほとんどいない			4. ほとんどいない
	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけて		1. ほぼ全ての利用者が		職員から見て、利用者はサービスにおおむね	1. ほぼ全ての利用者が
30	いる		2. 利用者の2/3くらいが	67	満足していると思う	〇 2. 利用者の2/3くらいが
00	(参考項目:49)		3. 利用者の1/3くらいが			3. 利用者の1/3くらいが
	(多行項目: 40)	0	4. ほとんどいない			4. ほとんどいない
	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安	0	1. ほぼ全ての利用者が		職員から見て、利用者の家族等はサービスに	1. ほぼ全ての家族等が
81	なく過ごせている		2. 利用者の2/3くらいが	68	おおむね満足していると思う	〇 2. 家族等の2/3くらいが
0 1	(参考項目:30,31)		3. 利用者の1/3くらいが	00		3. 家族等の1/3くらいが
	(多方架口:00,01)		4. ほとんどいない			4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔		1. ほぼ全ての利用者が			
	が用する。この時代の次ルで安全に心した末	\circ	2 利用者の2/3くらいが			

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

(別紙2−2)

自己評価および外部評価結果

ユニット名 紅梅棟

			カコ転体	<u>压</u>	
自	外	項目	自己評価	外部評	
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.E	里念し	に基づく運営			
1		〇理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して 実践につなげている	各棟の玄関、事務所、休憩室に掲示し、職員 全員が共有出来る様にしている。		
2	(2)	〇事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	コロナの影響で行事等の参加は出来でいないが、回覧板による情報連絡は来ている。		
3		〇事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向け て活かしている	ホームページやパンフレットによるGHの案内をしている。またインスタグラムを初め色々なことを投稿し案内している。		
4		いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	本年9月以後より以前のようにホームにて開催し様々なを意見聞き、今後に生かしていきたい。		
5	(4)	〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝 えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	認定調査の申請、生活保護の手続き、災害 設備の設置、推進会議を通じ入居状況などの 報告をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評	価
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し、又身体拘束 適正化委員会を設置し、その委員会を中心と した研修会を定期的に開催し意識と理解を高 め身体拘束ゼロを目指している。		
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	今年度より、虐待防止委員会を設置し、虐待 防止の研修会を開催している。また、取り組 みとして、職員会議で月目標としたり、日々の 業務中で気付けたことは注意している。		
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	- ご家族様の方との話し合いは行政の担当者		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行 い理解・納得を図っている	契約、又は、解約においては家族等の考えや 疑問点を傾聴し真摯に受け入れ対応するよう にしている。又、説明を十分に行い理解したう えで契約している。		
10	(6)	〇運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	意見、ご要望の受付箱の設置やアンケートを 実施している。また、当施設担当者、相談員 等にも聞き取りを行っている。		

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	外 部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	〇運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、開催される職員会議やそれ以外にも メール等で意見提案出来やすい。		
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている	処遇改善による、環境整備の増設、給与に反 映されている。		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会 の確保や、働きながらトレーニングしていくことを 進めている	コロナの状況にもよるが関連施設による合同 研修会や合同委員会の参加を出来る限り 行っている。		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	通知や電話での情報、またメール等にて交流 が出来ている。		
II .5	文心の	と信頼に向けた関係づくりと支援 ○初期に築く本人との信頼関係			
13		サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の要望を傾聴し、人間関係や勧業をよく考え、希望や要望に沿えるように努めている。		

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	外 部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		づくりに努めている	出来るだけ、グループホーム、での生活や出来ることを説明し、本人様、ご家族様の要望 に沿えるように心がけています。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族様から困っていること、不安なことを良く聴いて、どのような支援やサービスが出来るか、他施設の相談員や病院とも意見交換している。		
18		〇本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来るだけ、共同生活の中での役割や楽しみ を見つけ、一人ひとりが表現、行動し、それを 見守れるように努めています。		
19		〇本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	コロナによる制限はあったが、出来るだけ面 会や電話、広報などで現状を伝えている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナによって制限あるが、出来るだけ面会 や外出等を支援し本人やご家族の関係が継 続できるよう努めている。		

自己	自外項目		項目		
		, , , ,	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が自然と楽しく過ごせる場所を作り、レクリエーション活動が出来る時間を作っている。		
22		〇関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後でも、相談に応じご家族、本人様の要望に応じれるよう努めている。		
		人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン			
		〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	これまでの生活のリズムが崩れない様に一人 ひとりの暮らしや思いを尊重し、それを生かせ る環境図栗に努めている。		
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	ご家族様へ、これまでの暮らし方、生活習慣などを聞い継続した生活が出来るよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	利用者様の出来ること、出来ないことを把握 し、一人ひとりのレベルに沿った自立支援に 努めている。		

自	外部	項目	自己評価	外部評	価
自己		7	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	本人がより良い暮らしが出来るよう、本人、ご家族や医師に相談しケアプランを作成し、介護を行っている。		
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子を記録し、変化や気付きなど職員 で情報を共有し、介護計画の見直しなどを行 い実践している。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ー人ひとりのその時の状況、状態に応じて柔 軟に支援やサービスが出来るように努めてい る。		
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウイルス感染対策の為、施設外のイベント等に参加できていないが、リハビリ支援や家族との外出など少しづつではあるが支援できている。		
30	(11)	〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受けられるように支援して いる	基本的には、施設関連の病院をかかりつけ 医(石川医院)にしていただいていが、専門的 な事例に関してはこれまでのかかりつけ医を 受診されている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評	価
	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携により日頃のバイタル測定や状態 観察をし異常時は直ぐ医療機関に状態報告 をするようにしている。		
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよう に、又、できるだけ早期に退院できるように、病院 関係者との情報交換や相談に努めている。ある いは、そうした場合に備えて病院関係者との関係 づくりを行っている	入院された時は、病院との情報交換を行い利 用者や家族の意見を確認し再入所や今後の 予定など検討している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に取り組んで いる	本人の状態について把握し、石川医院と連携を行い、重度化や終末期を向える前には、家族、Drと話し合い希望に沿った支援を出来る様に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	全職員、勉強会で学び、処置のやり方はその 都度石川医院と連携をとり対応の仕方を学ん でいる。		
35	(13)	〇災害対策	5月と11月に消防訓練を行っているが、コロナウイルス感染症対策の為、消防所の立会いは出来ていときもある。		

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	外 部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	身体拘束廃止委員会での勉強会をもとに、職員の言葉使いや、利用者様への接し方などを確認しながら利用者様のプライバシー保護に注意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、 自己決定できるように働きかけている	自己決定できる言葉かけを行い、お話を傾聴 する中で、要望、希望を見出し寄り添った行 動を行うよう心掛けている。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの方々の生活歴を把握し、本人の 要望を確認しながら寄り添ったケアを行って いる。		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	どの洋服を着たいのか言葉かけし、一緒に準備を行い本人の意思にて選んでいただけるように支援している。また、選ぶ事が出来ない方に対しては、ご家族の方に好みを聞いて対応している。		
40	(15)	〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている	野菜を栽培し、一緒に収穫した野菜を食事に 提供、又楽しんでいただく為に、おやつを一緒 に作り食べていただいている。		

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	外 部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	毎月、体重測定しBMIを把握している。食事量が少ない人には、言葉かけ等行いながら食べていただき、また、好みの食べ物を提供できるようにしている。水分が苦手な人には工夫し摂っていただき、体調管理を行っている。		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	毎食後、洗面台へ誘導し口腔ケアを行ってもらっている。介助が必要な方でも、出来るところは行ってもらい、一部介助を行っている。全介助の方にはガーゼやスポンジブラシを使用しケアを行っている。		
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄記録を活用し、言葉掛け、誘導を行い、 出来る限り本人の力で排泄を行ってもらって いる。出来ないところは、言葉かけしながら一 部介助している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	排便のカウントを行い、それぞれの排便状況 を把握している。石川医院と連携をとり、下剤 薬等を処方してもらっている。		
45	(17)	〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週に二回は確実に入っていただき、清潔な状態を保てるようにしている。入浴好きな方、嫌いな方もおられ、それぞれにあった声掛け、対応をし気分よく入っていただけるようにしている。		

自	外部	項目	自己評価	外部評	価
自己			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝前にトイレを済ませ、夜間用パットなど使用し起床時間、排泄時間を把握し、良眠できるように行っている。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	石川医院からの定期薬の確認、お薬手帳の 管理など支援している。		
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ー人ひとりに合った役割を支援している。洗 濯物たたみやお盆拭き等手伝ってもらってい る。		
49		支援している	コロナ禍のため、なかなか出かけることが出来ないが、施設周辺などに散歩したりしている。		
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援している	基本的に預からないが、本人やご家族の希望により代理で購入をしている。代金、お釣りの確認は本人、職員2名で行っている。		

自	外	項目	自己評価	外部評	価
自己	外 部	7. –	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	手紙が届いた時は、手渡す。できる様であれば、電話や手紙にて返信できるように支援している。		
		ねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、 居心地よく過ごせるような工夫をしている	カレンダーや壁紙などを季節ごとに変化させ 季節感を感じていただき、話題になるようにし ている。		
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の 工夫をしている	食堂や和室の空間を利用して、好きな場所に 自由に居られるようにしている。		
54		〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相 談しながら、使い慣れたものや好みのものを活か して、本人が居心地よく過ごせるような工夫をして いる	持参されて写真や馴染みな物などを飾り、落 ち着かれる雰囲気作りを心掛けている。		
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	個々の運動機能や認知力を考え、歩ける方も 車いすのなど使用される方も安全に使用、共 有出来る様にしている。		